

渡辺一枝トークの会
福島の声を
聞こう vol.51



「核発電」を「原子力発電」と言い換えて、国策で原発を推進してきました。企業も収益を見込んでそれに飛びつきました。メディアも大いに喧伝しました。国民も、一部には反対する声もあったけれども多くはそれに乗りました。そして、2011年3月の東京電力福島第一発電所の爆発。多くの被害者、避難者を生み、自然災害だけでなく助かった筈の命も多数失われました。

あれから14年。あったことを、無かったことのように思い込ませる仕組みを、憂います。いま心に刺さる様々な問題が山積する中で、ともすれば他に気を取られて後回しにしがちな問題を、あの日に立ち返って振り返ってみませんか。

今回のゲストスピーカーは、まさにあの日あの時にフクイチ4号機内で作業中だった、佐々木孝之さんです。



佐々木孝之さんプロフィール

福島県南相馬市小高区で 1954年8月1日に生まれる

地元の高校を卒業後、1992年(38歳)まで地元企業に就業。同年から原子力発電所でプラントメーカーの派遣社員として従事。2012年、家庭の事情により原子力発電所の仕事を離れる。

2011年の震災後、武蔵野市の都営住宅に避難。その後、同地に移住。2024年まで近隣企業にて就業し現在に至る。

日時 2025年 **11**月**7**日(金) 午後**7**時~**9**時(開場 午後6:30)

場所 セッションハウス・ガーデン(東京都新宿区矢来町158 2F)

参加費 1,500 円

申込受付 2025年 **10月20** 日(月)午前**11**時～ これ以前のお申込はご遠慮下さい

☎03-3266-0461 お名前・人数・お電話をお知らせください。
(神楽坂セッションハウス)

主催・お問合せ

セッションハウス
企画室

mail@session-house.net
https://session-house.net

03-3266-0461

